

環境負荷低減効果の研究

NGPが発表会、公開へ



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（佐藤幸雄理事長）は5日、都内のホテルで「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」成果の発表会を開催した（写真＝左から4人目が

佐藤理事長）。

同組合は2013年5月から富山県立大学工学部機械システム工学部の森孝男教授、明治大学理工学部機械情報工学科の井上全人准教授と共同で同研究に取り組み、3年

間で29回の勉強会とNGP組合員の工場実地調査を実施。さらに組合員38社による車両39台・27車種を対象に1台ごと50部品の重量・素材を調査した。その結果、組合独自のCO₂削減効果を部品／車種ごとに算出することができたと発表した。

佐藤理事長は「環境貢献への意識向上の一環として、リサイクル部品の販売時に発行する見積書・納品書・請求書・検査証にCO₂削減効果値を記載する。一般ユーザーにはリサイクル部品の認知度がまだまだ低位であるので、専用のホームページを開設して研究成果を公開する」と述べた。